

牛庇車

嘉禎三年正月十四日丙寅攝政○藤原道家 姬君被渡左府○藤原兼經 亭庇車前駟八人出車三兩殿上人五人扈從每事新儀也

〔門室有職抄〕車樣事

半庇 院親王駕之

物見之上許有庇自餘事如庇車

〔山槐記〕元曆二年八月十四日甲子前齋院故高倉三位腹法皇後白河御母 准后之後初渡御院御所○中略 頃之寄御

車院御車也物見上 有庇袖網代也

庇指車

〔倭名類聚抄十一〕長簷車 顏氏家訓○勉學 云乘○乘家訓 作駕長簷車今案俗云庇刺車是乎

〔標注職原抄上末〕西宮記に式部卿依一分召參省乘庇指糸毛車と見えればこの事舊式とお

もはる庇指は和名抄に長簷車俗云庇刺車是乎とあり世俗淺深秘抄に打付蔀差上部有兩説といへる差上部ぞこの庇差なるべき和名抄に長簷とあるは半蔀に對たる稱にてその庇長く差出たるなるべし

〔西宮記 二月〕一分召卿式部參省行之丞一人乘結唐尾馬奉行卿乘廂指糸毛車或於里亭行之

〔職原抄上〕式部省

卿一人

凡當職其寄異他每年於本省行諸國一分召也○中略 近代其禮久絕畢件日者式部卿乘庇差絲毛

車

〔西宮記臨時五〕皇后行啓

輿車依本宮定乘輿者女官騎馬唐尾倭鞍安騎宮本出入乘車者侍者付轆其車用庇指

東宮行啓